# 2012年度 バンガロール日本商工 会

#### 第1回稅務労務委員会 活動報告

日時:2012年6月13日(水)17:00~19:00

場所: Deloiite Haskins & Cell 事務所会議室

出席:23名

議事:

- (1) 2012年度メンバー自己紹介
- (2) 2012年度活動方針・進め方の決定
- (3)8月以降のテーマ案決定

#### (1) 2012年度メンバー自己紹介

```
島村様(デロイトハスキンス&セルス)、西澤様(JETRO)、
沼生様(トヨタキルロスカオートパーツ)、戸倉様(シチズン時計)、
石田様(豊田通商インディア)、間瀬様(KPMG インディア)、
大槻様(TGキルロスカオートモーティブ)、上原様(横河電機)、
西田様(デンソーキルロスカ)、久保様(東海理化ミンダインディア)、
松田様(アーンスト&ヤング)、吉澤様(TASエクスプレス)、
東明様(株式会社トウメイエンジニアリング)、永瀧様(メトロール)、
灰谷様(イフコトキオ ジェネラルインシュランス)、山崎様(オリエンタルモーター)、
山本様(東京コンサルティングファーム)、福永様(アームセルMHE)、
富山様(インド安川電機)、小江様(エレマテック トレーディング)、
岡田様(パソナインディア)、奥野様(フォックスマンダル)、上野
```

計23名 順不同

# (2) 2012年度活動方針・ 進め方について

#### 活動方針

- 税務労務関連トピックの最新情報を共有、理解を深めた上で意見交換を行い知見を深める。
- 各社が直面している問題、過去に経験した問題とその 対応内容を共有し、対応策検討/将来への備えの一助 とする。

#### 進め方

 毎回テーマを決め、代表会社に事例報告/専門家から 最新動向、理解の難しい項目についての解説を行って 頂き、質疑・意見交換を実施。

# (2) 2012年度活動方針・ 進め方について

#### 会合

• 8月、10月、12月、2月、4月

日時:第2水曜日開催(17:00-19:00)

• 場所: Deloitte Haskins & Cell

事務所会議室

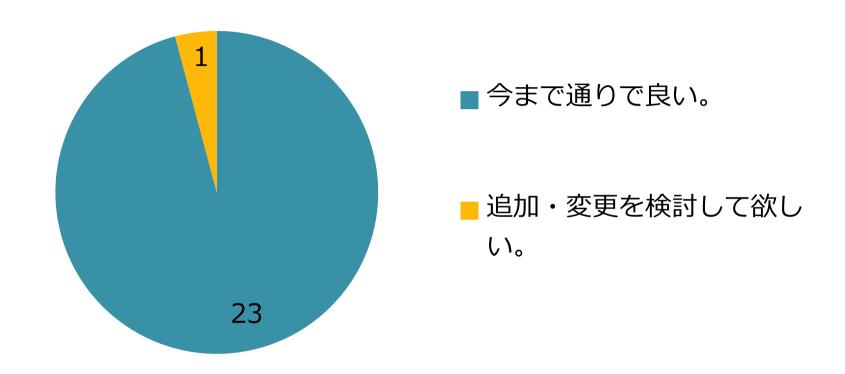
#### (3) 8月以降のテーマ案決定

- 8月度テーマ
- 物の流れに沿った間接税制とインボイスの実務 (①概要編:主要間接税の基礎と主要スキーム)
- 10月以降テーマ (候補)
- 物の流れに沿った間接税制とインボイスの実務 (②ケーススタディ:輸入〜販売、州を跨いだ製造業、 アフターサービス)
- 個人所得税、PF
- ビザ、外国人登録
- 経営幹部(≒日本人)の法的責任
- 一般的な福利厚生パッケージ、リテンション施策、採用の実務(オフィス)
- インド人との協働の現状、問題認識、課題



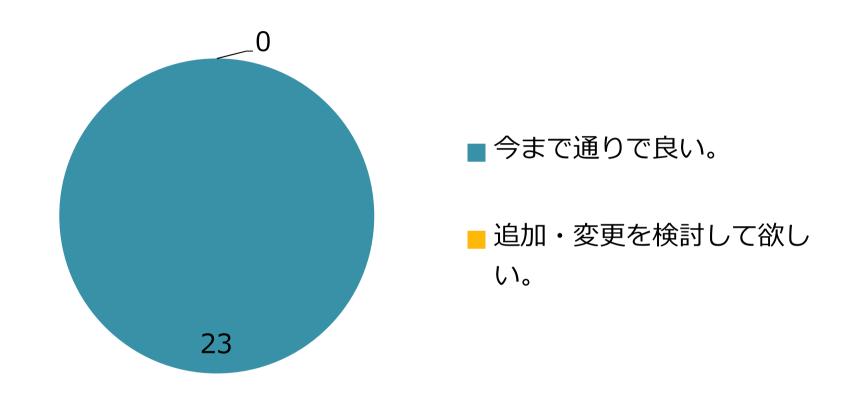


# アンケート結果:活動方針



• 勉強会のようなものも追加したら如何でしょうか。

# アンケート結果:進め方



#### 「税務」

- 社会保障制度や税制など、法律・規則が変更になった際の、専門家によるタイムリーな情報提供
- インド税制状況
- 移転価格税制 2012年予算での変更を踏まえた注意点、最新事例
- インドの間接税の基礎(インドの税金で一番悩ましいところかと思います。)
- PF動向
- 日本人帰任者のPF/所得税リファンドの日本親会社への送金方法

#### 「労務:ローカル」

- ローカル社員の人材育成制度(人事考課制度、教育システム)
- ローカル社員の昇給に関する意見交換、情報共有
- 労使関係(組合教育)、労働争議の現状と対応
- インドにおける労務管理、組合対策等
- 労働法、労働慣習における注意点について

#### 「労務:日本人」

- インド現地法人での日本人駐在員の労務費負担について (インド現地スタッフとの関係、世界所得のインド現地法人負担比率)
- 駐在員の処遇内容 (家賃・間取り上限、メイドサービス有無、自動車&ドライバー(通勤用・家族用)、ホテル宿泊料、ハードシップ手当等)
  - ※駐在員1~2名程度の企業だと、日系企業の世間相場に関する情報が少なく、事実上現地側に決定が任され、過度に待遇が悪かったり、逆に良過ぎたりする。可能な範囲で情報共有が出来ると有難い。
- 実務で常に苦労する就労ビザ発給に関しては継続的に取り上げて欲しい。
- 外国人登録関係、FRRO当局の動きの見通し

#### 「共通、その他」

• その他 労務、税務の規制変更やトピック

## アンケート結果:自由意見

- この会はとても社内的にも個人的にも参考になる委員会ですので、これからも積極的に参加致します。
- 人事労務関連の話題が気になります。特に、日本以外の会社 (欧米韓印)ではどのようにしているのか、興味があります。
- 繰り返しのテーマであっても、インドの場合頻繁に変更になること 及び 税制も複雑でケースバイケースで異なるため繰り返しやる意義があると考えます。
- 制度以外にも、プライドの高いインド人との日々のやりとりで苦労すること、対応策などについて情報交換をするというのはいかがでしょうか。